



# 議会だより

銚田花火大会  
(令和7年11月8日)



一般質問は  
11人の議員が  
質問したよ!



銚田市マスコット  
キャラクター

ほこまる

## 議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で  
本会議を傍聴できます。

銚田市議会 中継

検索

令和8年第1回定例会の予定 〇〇〇〇 発表済

1年間の主な活動日誌	P2~P3
令和7年第7回臨時会・令和7年第4回定例会	P4~P5
ここが聞きたい!	
一般質問11人が質問しました	P6~P12
視察受入・行政視察	P13
委員会活動報告	P14~P15

1月

14日 全員協議会  
 23日 議会改革に関する調査特別委員会  
 17日 第2回議員研修会  
 7日 正副委員長会議  
 1日 議会広報編集委員会  
 29日 議会運営委員会  
 29日 全員協議会  
**第1回臨時議会**

2月

1日 議会報告会  
 3日 大分県杵築市視察受入  
 5日 北海道旭川市視察受入  
 14日 議会改革に関する調査特別委員会  
 18日 茨城県市議会議長会第2回研修会  
 25日 予算内示会  
 25日 全員協議会  
 25日 公共施設のあり方に関する調査特別委員会  
 25日 議会運営委員会  
 25日 議会改革に関する調査特別委員会

3月

3日 議会運営委員会  
 3日 全員協議会  
 6日 議会運営委員会  
 7日 総務企画常任委員会  
 10日 経済建設常任委員会  
 12日 厚生文教常任委員会  
 14日 全員協議会  
 17日 予算特別委員会(経済建設分科会)  
 18日 予算特別委員会(総務企画分科会)  
 18日 予算特別委員会(厚生文教分科会)  
 21日 予算特別委員会(全体会)  
 25日 議会運営委員会  
 25日 議会広報編集委員会  
 25日 全員協議会  
 25日 議会運営委員会  
 25日 議会広報編集委員会  
 25日 議会運営委員会  
 31日 議会広報編集委員会  
 31日 全員協議会  
**第2回臨時議会**  
 31日 全員協議会  
 31日 議会広報編集委員会



大船渡市災害義援金寄託



議会報告会

4月

11日 全員協議会  
 21日 議会運営委員会  
 25日 議会運営委員会  
**第3回臨時議会**  
 議会改革に関する調査特別委員会

5月

8日 議会広報編集委員会  
 19日 議会運営委員会  
 23日 全員協議会  
**第4回臨時議会**  
 30日 議会運営委員会

6月

5日 議会運営委員会  
 5日 全員協議会  
 11日 議会運営委員会  
 16日 公共施設のあり方に関する調査特別委員会  
 17日 議会広報編集委員会  
 18日 総務企画常任委員会  
 18日 経済建設常任委員会  
 20日 厚生文教常任委員会  
 20日 総務企画常任委員会  
 20日 全員協議会  
 議会運営委員会  
 議会改革に関する調査特別委員会



大竹海岸現地視察



7月

- 8日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
- 14日 議会運営委員会
- 第5回臨時会**
- 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 正副委員長会議
- 厚生文教常任委員会

8月

- 21日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 公共施設のあり方に関する調査特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 8月29日～9月29日
- 第3回定例会**
- 全員協議会
- 正副委員長会議

9月

- 3日 全員協議会
- 議会運営委員会
- 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 9日 調査特別委員会
- 16日 決算特別委員会(総務企画分科会)
- 17日 決算特別委員会(経済建設分科会)
- 18日 決算特別委員会(厚生文教分科会)
- 22日 議会運営委員会
- 決算特別委員会(全体会)
- 24日 経済建設常任委員会
- 25日 総務企画常任委員会
- 26日 厚生文教常任委員会
- 29日 全員協議会
- 議会運営委員会
- 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会



銚田市商工会青年部との意見交換会

10月

- 6日 議会運営委員会
- 10日 **第6回臨時会**

11月

- 4～6日 総務企画常任委員会、経済建設常任委員会 合同視察研修
- 14日 茨城県市議会議長会第1回議員研修会
- 19日 議会運営委員会
- 25日 全員協議会
- 第7回臨時会**
- 28日 議会運営委員会
- 厚生文教常任委員会

12月

- 4日～19日 **第4回定例会**
- 4日 全員協議会
- 正副委員長会議
- 9日 議会運営委員会
- 15日 総務企画常任委員会
- 16日 厚生文教常任委員会
- 17日 経済建設常任委員会
- 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 第1回議員研修会
- 全員協議会
- 19日 議会運営委員会



議員研修会



## 令和7年第7回臨時会

11月25日(火)本会議

- ・開会
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・市長所信表明並びに提出議案説明・質疑・討論・採決  
(議案第1号及び報告第1号)
- ・閉会

## 概要

令和7年第7回臨時会は、11月25日の1日の会期で開かれました。  
議案は、市長から一般会計補正予算(第9号)が提出されました。また、損害賠償の額の決定及び和解について報告1件が提出され、慎重な審議を行いました。  
今臨時会に提出された議案は、可決されました。



市長提出議案  
概要はこちら

### 全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議案等
第7回臨時会	第1号 令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第9号)
	報告第1号 専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について

## 主な日程

12月4日(木)本会議

- ・開会
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・市長提出議案説明  
(議案第1号から第9号)

12月9日(火)本会議

- ・一般質問

12月10日(水)本会議

- ・一般質問
- ・市長提出議案説明  
(議案第10号から第15号)

12月15日(月)総務企画常任委員会

12月16日(火)厚生文教常任委員会

12月17日(水)経済建設常任委員会

12月19日(金)本会議

- ・議案第1号から第15号質疑・討論・採決
- ・市長提出議案説明・質疑・討論・採決  
(議案第16号から第17号)
- ・陳情第07-1号及び第07-2号委員長報告・質疑・討論・採決
- ・鉾田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- ・委員長報告
- ・議員派遣
- ・閉会

## 令和7年第4回定例会



# 概要

令和7年第4回定例会は、12月4日から12月19日までの16日間の会期で開かれました。

議案は、市長から鉾田市印鑑条例の一部改正についてその他、鉾田市総合計画策定に係る委託料や小学校体育館への空調設備設置工事費等の経費を計上する一般会計補正予算第(10・11号)など17件が提出されました。

一般質問では11名の議員から通告があり、新庁舎建設の見直しについて、サツマイモ基腐病対策、救急搬送における選定医療費の徴収、副市長職のあり方についてなど多くの質問がなされました。(pp.6~12)

総務企画常任委員会では、陳情審査と併せ「鉾田市消防団組織再編等に向けた取組」「鉾田市DXの現状と課題」など4点の所管事務調査を行いました。経済建設常任委員会では「大竹海岸養浜工事の進捗」について現地に赴き所管事務調査を行いました。厚生文教常任委員会では陳情審査と併せ「地域クラブ推進の現状」「幼稚園教育の現況」など4点の所管事務調査を行いました。(pp.14~15)

今定例会では、提出された議案は全て可決され、陳情第07・1号及び第07・2号は趣旨採択されました。

また入江議長に対し、議長として公平性に欠け議会内に不信と混乱を生み出したことを理由とする動議(議長辞職勧告決議)が亀山議員から所定賛成者のもと提出され、質疑後、賛成多数で可決されました。

## 全会一致で可決した議案等

第1号	鉾田市印鑑条例の一部改正について
第2号	鉾田市税外収入金の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正について
第3号	鉾田市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部改正について
第4号	鉾田市子ども・子育て会議条例の一部改正について
第5号	鉾田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
第6号	鉾田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
第7号	鉾田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
第8号	令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第10号)
第9号	鉾田市監査委員の選任について(伊藤 幸夫氏)
第10号	鉾田市職員の給与に関する条例等の一部改正について
第11号	令和7年度鉾田市一般会計補正予算(第11号)
第12号	令和7年度鉾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
第13号	令和7年度鉾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
第14号	令和7年度鉾市介護保険特別会計補正予算(第2号)
第15号	令和7年度鉾市水道事業会計補正予算(第1号)
第16号	鉾田市教育委員会委員の任命について(石田 かおり氏)
第17号	鉾田市教育委員会委員の任命について(戸島 順子氏)
陳情第07-1号	陳情書の書式制定、又、有効活用してもらう件に関する陳情書 <span style="float:right">【趣旨採択】</span>
陳情第07-2号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情 <span style="float:right">【趣旨採択】</span>



## 各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議員名	議員名																採決結果	
		関根正史	久保田豊	土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高荻栄治	亀山彰	小沼勝	根寄眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	米川宗司	山口徳	田口清一	堀田正衛		高野衛
第4回定例会	議長辞職勧告決議*	○	○	○	○	●	○	○	-	○	●	除	○	●	●	●	●	●	可決

○：議案等に賛成、●：議案等に反対、退：退席、欠：欠席、除：除斥、-：議長の職務代行のため副議長は採決に加わりません。  
 ※辞職勧告決議とは 議員等の辞職を勧めることを内容とし議会として意思を表明すること。議会の意思決定の1つで法的拘束力はなく、勧告に従って辞職する法的義務を負うことはない。



# ここが聞きたい!! 一般質問

議員名	質問事項
堀田 正衛 P7	1 新庁舎・公共施設等、一旦ストップについて
	2 飯名地区市有地の土地活用について
	3 ふるさと納税事業について
米川 宗司 P7	1 市政全般について
	2 公共施設のあり方について
	3 財政について
	4 職員について
関根 正史 P8	1 市政運営について
	2 新庁舎建設見直しについて
	3 職員体制の整備について
	4 さつまいも基腐病対策について
土子 勝也 P8	1 国道51号歩道整備について
	2 健康増進事業について
	3 通学路の安全対策について
	4 銚田市の特産物について
	5 市政への取り組みについて
山口 徳 P9	1 銚田市内の井戸水について
	2 令和8年度の予算編成について

議員名	質問事項
小沼 勝 P9	1 救急搬送における選定療養費の徴収について
	2 中学校の再編について
	3 特別支援教育の更なる充実について
	4 幼保小中の連携について
	5 副市長の役割について
水上美智子 P10	1 重点支援地方交付金について
	2 市民生活ファーストについて
	3 地域おこし協力隊について
	4 子育て支援の一環として
亀山 彰 P10	1 すべての路線バスがなくなる銚田市の公共交通について
	2 銚田市内の鳥獣被害の現状について
	3 副市長職のあり方について
高埜 栄治 P11	1 新市長の行政課題・地域課題の認識と取り組みに向けた手法・新年度予算計上について
	2 高齢者・障害者等の介護負担軽減・自立生活支援策について
	3 新しい地域コミュニティの創造(具体的な組織・制度設計等)について
鬼澤 治男 P11	1 大洋地区小学校跡地の利用について
	2 井川市長が述べた所信表明の9番目について
高野 衛 P12	1 市長の所信表明と選挙公約について
	2 来年度の予算について
	3 最低賃金引上げに伴う中小業者への支援策について
	4 不登校といじめの問題について
	5 ピーフラス(有機フッ素化合物)の問題について



銚田市議会ホームページで  
一般質問の会議録を公開しています!

- ①銚田市のホームページへアクセス  
[<https://www.city.hokota.lg.jp>]
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリック
- ③会議録をクリック

※今定例会の会議録は3月上旬公開予定です。

また、各議員の2次元コードを読み込むことで、  
一般質問の録画放送を再生できます。

銚田市議会 会議録

検索



## 一般質問とは?

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!



# 新庁舎・公共施設等整備事業の一時中止について



堀田 正衛



## 問

市長の所信表明の中で、新庁舎・公共施設等整備事業を一時中止することだが、中止の理由と建設候補地の変更等、具体的内容について伺う

## 答

【市長】今回、新庁舎・公共施設等整備事業の現計画を中止し、市民の声を反映しながら、再検討を行うこととしたものです。建設候補地についてもゼロベースで改めて検討して参ります。

## 再質問

建設候補地に建設しない可能性もあるのか伺う。

## 答

【市長】現時点では、ゼロベースで改めて検討することとなります。

## 再質問

選挙運動用の印刷物では、設計業務等の委託契約もしていないなかで事業費201億円と明記されている。これは市民に対する虚偽ではないのか伺う。

## 答

【市長】あくまで現在の物価上昇を鑑みた場合の金額であり、ゼロベースで検討していくこと

が私の所信です。

## 再質問

市民に対して実施の有無を含めて具体的に説明しなければ市民は納得されないと思うが如何か。

## 答

【市長】当事業に対する市民の懸念や理解が十分に深まっていないという現状を踏まえれば、今ゼロベースでしっかり判断していくことが私の使命と思っております。

## 再質問

建設候補地(安房地区)として事業に協力された土地所有者等の思いをどのように考えているのか伺う。

## 答

【市長】私は市庁舎建設を実施しないと、選挙戦を通じて、多くの市民との会話や聞き取りをした結果、市民の懸念や理解が不十分であると認識したもので、ご理解頂きたい。

## 提言

事業協力された土地所有者等に対しては、しっかり対応して頂きたい。

# 公共施設のあり方について

米川 宗司



## 問

現庁舎及び公共施設は老朽化が進み機能上の課題が指摘されている。市長はどのような考え、検証のもとに一時中止の決断に至ったのか伺う。

## 答

【市長】新庁舎をはじめ、公共施設の老朽化への対応は当然必要であります。しかしながら、現計画に対する市民の事業に対する懸念が確認できたこと、更に、事業に対する市民の理解が深まり切っていない状況を確認したことから、現計画は中止し、改めて再検討するという判断に至ったところであります。大規模な事業で市の将来を担う事業であるからこそ、より市民の声を反映した上で、熟議の上、検討して参ります。

## 再質問

どのようにして市民の事業に対する懸念を確認したのか伺います。

## 答

【市長】先の市長選挙において、非常に多くの市民と話をしてきた中で私が判断したことです。

## 再質問

これまで13回にわたり新庁舎・公共施設等整備基本構想検討委員会を開催し、新庁舎・公共施設等整備基本構想計画の策定に至りました。その間、市長が議員在職時に、公共施設のあり方に関する調査特別委員会の会議において建設に否定的な意見をされなかった理由を伺います。

## 答

【市長】市民の理解を得て実施していくことが私の信条であり、一般の選挙戦を通じて、市民の事業に対する懸念や理解が十分深まっていない認識であったことから、先の選挙戦では一旦ストップと訴えて参りました。今日に至るまで、議会、市民説明会、パブリック

## 意見

市民説明会、パブリック

コメントの中でも特に多くの反対意見もなく進んできたことを思うと非常に残念に感じている。

## 問

今後の計画策定において、市民説明会や意見聴取等市民の意見が反映される仕組みづくりの考え方、及び市民から納得を得るための情報公開や広報施策の考え方について伺う。

## 答

【市長】現時点で、市民の声を反映させる手段については、慎重に検討している段階で、決定はしていませんが、説明会の開催などを通じて、真摯に市民の声を傾けていきたいと考えております。なお、手段と併せて、どのような内容で意見を聴取していくのかについても検討を行っているところであります。また、情報の公開や広報施策については、より効果的な方法を模索して参ります。

## 再質問

これからの建設計画にあたって想定する資金調達、市民サービスや地域経済への波及効果について伺う。

## 答

【市長】まずは、市民の声を聞いた上で、方向性を見出していくため、現時点で財源など具体的にお答えすることは困難です。しかしながら、公共施設のあり方を検討していく上で、財源、市民サービスなどは重要な要素であるので、しっかりと考慮して参ります。

## 再質問

近年の社会情勢の変化によっては、事業の中止、断念という結果もあり得ると考えているのか伺う。

## 答

【市長】当事業は喫緊の課題と認識していることから、自ら進めていくことが使命であると考えています。





# サツマイモ基腐病の市の現状と認識、対策等は

関根 正史



**問** 令和7年11月18日、茨城県はサツマイモ基腐病に係る緊急事態宣言を発令した。本市の現状と認識について伺う。

**答** 【環境経済部長】現時点で市内での発生は確認されていないが、産地を守るため茨城県からの情報収集を行うとともに、関係機関と連携して市内の実態把握や情報発信などの対策に努めて参りたい。

**再質問** 市内農業への影響や危機感について伺う。

**答** 【環境経済部長】本市のサツマイモは、重要な農産物として位置付けされており、病気の発生は、個々の農家にとどまらず、産地全体に直接影響を及ぼすものと重く受け止めています。市内で発生した場合の農業に与える影響として、サツマイモ農家における収入、収量の激減や地域全体の商品価値の低下を危惧しています。

**再質問** 病気の発生防止や拡大防止のための具体的支援や農家への技術指導、啓発の強化策について伺う。

**答** 【環境経済部長】現在、ホームページや市広報紙、新聞折込チラシ等を通して病害の影響や防止方法について周知しています。今後、茨城県と連携して本病を持ち込まない、増やさない、残さない方針で時期に応じた対策をして参りたい。

**問** サツマイモ基腐病の対策と発生時の対処方法について伺う。

**答** 【環境経済部長】現在、市内での発生は確認されていないが、一度発生すれば産地に甚大な被害をもたらすことから、注意喚起と迅速な情報発信に努めています。今後も新たな情報が入り次第、適切に周知して参りたい。次に、発生時の対処方法として、茨城県での検体検査により本病が確認された場合は、茨城県総合防除計画及びサツマイモ基腐病対策基本方針に基づき防疫措置が行われます。本市としては、被害拡大防止のための正確な情報発信と初動体制の確保に努め対策に万全を期して参ります。

**問** 市内で本病の発生が確認された場合、市独自の即応態勢を整える考えがあるのか伺う。

**答** 【環境経済部長】本病が発生した際は、市は拡大を防止するため、農家だけでなく家庭菜園を栽培する市民を含めた幅広い周知を講じて参ります。併せて地域全体で産地を守る意識啓発を実施して参りたい。

**提言** サツマイモ基腐病は、農家だけでなく市全体の産業と地域経済に直結する重大な問題です。市、JAが一体となり、情報提供、予防対策、経営支援、技術指導、中長期の営農支援が必要で、農家の皆さんが安心して営農継続ができるよう、市として積極的な支援と迅速な情報発信を強く求めます。

# 旭小学校開校に伴う通学路等の安全対策について

土子 勝也



**問** 2km未満の通学路について、危険箇所を網羅的に再点検しているのか伺う。

**答** 【教育部長】スクールバスの乗降場所までの安全確保を含め全体的な対策を講じており、状況に応じて繁茂樹木の伐採、草刈り、路面標示などを行っております。学校では、日々の交通安全指導や交通安全教室を実施するなど交通安全の未然防止に努めています。また、登校時は、保護者や地域ボランティアの協力を得て進めています。

**再質問** 2km未満の児童を徒歩通学としている理由について伺う。

**答** 【教育部長】距離を基準とした明確な規定はありませんが、一般的に4km未満は歩くとか、児童の健康づくり、登下校途中での交通安全の学習などの効果を含めて2km未満は徒歩による登下校をしている状況です。

**再質問** 令和8年4月開校予定の旭小学校における2km未満の通学路は、道が狭く、雨天時は特に危険が危惧されるが、児童の安全対策について伺う。

**答** 【教育部長】現在の旭地区各小学校から報告された通学路の危険箇所を踏まえ、また交通安全プログラムに配慮しつつ検討を進めてまいります。

**再質問** 国道51号線を横断して通学する児童に対する安全対策として、人を配置する考えはあるのか伺う。

**答** 【教育部長】注意喚起や交通安全教育などの

対策を進めていきます。地形的問題など対策の必要性があれば、交通安全プログラムにより関係機関との協議の中で問題解決に努めてまいります。

**問** 【教育部長】子どもたちの安全対策は最重要であるとしており、しっかりと取り組んでいきたい。

**答** 【市長】2km未満のスクールバス利用については、開校時の状況を踏まえ検討してまいります。

**要望** 小学校から2km未満の徒歩による登下校の撤廃を要望する。

**問** 旭地区放課後児童クラブへの移動の際の安全対策について伺う。

**答** 【福祉事務所長】学校から旭地区放課後児童クラブまでの距離が約1kmであることから徒歩を想定してあります。また、徒歩通学路と同じ道ですので、教育委員会とも安全対策について協議しているところです。

**再質問** 異常気象などにより徒歩通学が困難な状況での対応について伺う。

**答** 【福祉事務所長】熱中症など荒天時は、事業者によるバス送迎等を想定しています。

**再質問** 全日バス送迎に対する安全対策はないのか伺う。

**答** 【福祉事務所長】市内児童クラブの公平性を担保しつつ進めていきたいと考えています。

**要望** 子どもたちの安全を確保するため、旭小学校から旭地区放課後児童クラブまでの徒歩移動の撤廃を要望する。



# PFOS(有機フッ素化合物)の現状と支援策について



山口 徳



**問** PFOS・PFOAに係る市内井戸の水の水質調査の実施件数について伺う。

**答** 【環境経済部長】これまで7回にわたり153件実施しています。

**問** 暫定目標値を超過した井戸所有者に対する支援の考えについて伺う。

**答** 【環境経済部長】補助対象や補助金額等の要件を関係課と協議し、制度設計を進めています。また、暫定目標値を超過した井戸が判明した隣接する小美玉市と茨城町及び茨城県と担当者会議を行い、意見交換を行っております。今後は、隣接する小美玉市と茨城町及び茨城県とも連携を図りながら、共有できる支援策の具体的な内容を検討していきたいと考えています。

**再質問** 水質調査の結果、国で定める暫定目標値を超えた井戸の水質検査に係る費用負担、上水道へ接続する際、給水管宅内引き込み工事の費用負担、アルカリ浄水器導入に伴う効果について伺う。

**答** 【環境経済部長】個人の井戸は個人の所有物となりますので、検査を行うのであれば自己負担にてお願いしています。次にアルカリ浄水器の効果については、メーカーによってPFOS・PFOAの除去率が明示されている製品があることは認識していますが、詳細な性能は各メーカーに確認して頂きたいと思えます。

**答** 【上下水道部長】配管内に引き込む場合の費用は、設置する敷地の状況が異なることからお示しすることはできませんので、問い合わせの際は、事前に給水装置工事業者へ見積もりの依頼をされて進められるよう説明している状況です。

**再質問** 多くの市民が苦労の考えを伺う。

**答** 【市長】市民の健康が最も重要であること認識していますので、今後近隣市町と協議しながら、市政の方針を打ち出してまいりたいと考えています。

**提言** 水質について不安いかと思えますので、是非ともその状況に応じた対処をお願いします。

**答** 【市長】市として前向きに進めていきたいと考えています。

# 園児・生徒等に対する救急要請の判断について

小沼 勝



**問** 茨城県では令和6年12月2日から救急車で搬送された患者の内、救急要請時の緊急性が認められない場合は、対象病院において、選定療養費を徴収することとなっている。市立幼稚園、保育園、中学校における救急車の要請件数、及び選定療養費の有無について伺う。

**答** 【教育部長】令和7年4月から11月までの救急搬送件数は6件ありました。その内、選定療養費の徴収対象となる病院への搬送は1件ありましたが、緊急性が認められたため選定療養費の徴収はありませんでした。

**再質問** 現在の学校等における生命に関わる緊急性を判断するためのマニュアルについて伺う。

**答** 【教育部長】緊急性の判断については、この場合は緊急性がある、この場合は様子を見るというものが多い事例を基に示されているのが現状であります。

**提言** 市では、園児・生徒等のそれぞれの情報等を考慮した上で、緊急性に対する判断が的確にされるよう進めて欲しい。

**答** 【教育部長】水戸市において、令和7年1月と2月に学校の判断で救急車を呼び、緊急性がないと判断されて選定療養費を徴収される事例が実際に発生したため、制度化したことを確認しています。茨城県より命に関わるような緊急時は、迷わず救急車を呼ぶこと、救急車を呼ぶか迷ったら、救急電話相談へ電話することと通知があり、本市においても、学校が救急車の要請を躊躇することのないよう各学校へ周知して指導・助言をしているところです。制度創設については、今後検討してまいります。

**答** 【市長】市立幼稚園、小中学校に対する緊急搬送要請時の補助については、前向きに検討したい。





水上 美智子

物価高騰支援として新たに交付される重点支援地方交付金の使途は



問

物価高騰の影響を受けた地域の支援を目的に新たに重点支援地方交付金が追加された。これに伴い、公明党銚田市議団は、市長へ物価高騰から市民生活を守るための緊急提言の要望書を提出し、効果的な取組みを着実に迅速に実行することを強く要望した。

この重点支援地方交付金の概要と、本市はどのような事業を検討していくのか。

答

【政策企画部長】本交付金制度は、これまで令和5・6・7年度に実施してきた物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業と同じくエネルギー、食品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地域の実情に合わせて必要な支援を細かに実施できる推奨事業メニューを実施のため、国の補正予算で重点支援地方交付金が追加されたものである。国が示す推奨事業メニューには、新たに食品の物価高騰に対する特別加算と中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備が追加されている。本市の実情に合った物価

再質問

高騰対策が速やかに実施できるような全庁的に情報共有し、国のメニューに沿った内容で各課において事業検討を行っている段階である。実施時期は、速やかに支援を要するものであることから、可能な限り早い段階での予算上程を考えたい。

再質問

事業検討は、国メニューから検討しているのか、若しくはそれ以外の事業を検討しているのか。

答

【政策企画部長】国の推奨メニューの方で検討している。今回は国の予算規模が2兆円とかなり大きいことから、今回、銚田市の方には約4億円程度が交付されるのではないかと考えられるので、幅広く効果的なものを検討していきたい。

提言

この事業を検討するうえで重視する点として、即効性、事務コストの最小化、公平性の3つが大事と思う。対象者を広く、市民の皆様にも、この交付金が還元できるように、物価高対策の支援を少しでも早く届けられるよう取り組んでいただきたい。

路線バス廃線後の本市公共交通の考えは

亀山 彰



問

令和8年3月31日での市内路線バスは高速バスを除き、全て廃線の発表がされ、高齢者や生徒・児童など交通弱者をはじめとする市民の皆さんから不安の声が聞かれる。デマンドバスや市外への足としてタクシー助成事業があるが、双方とも認知度が低く利便性や料金について不満の声がある。このような中、市外への公共交通網整備を考えたときに近隣自治体との協力が不可欠と考えるが、他自治体で行われている路線バス、コミュニティバスとの連携について市長の考えを伺う。

答

【市長】市外への公共交通網整備は、近隣自治体との連携が有効な手段であると考えているが、公共交通を維持していくためには継続的な利用が不可欠で、解決すべき課題は多くある。私も公約に掲げた銚田鹿嶋間ルートの創設等、市民の足の確保について近隣自治体との連携を含めた協議を行いながら、どのような施策が本市にとって最適であるかを検討していきたい。

提言

本市の脆弱な交通網から銚田市に住むのを諦め、住居を市外に移し農業を銚田市で行う方が増えてきているが、その一方で銚田市に戻りたい、住みた

問

いと思う大学生や高校生などの若者もいる。これらを踏まえ、近隣自治体と比べ割高なデマンドタクシー等の料金や利用者の利便性に欠ける点、スクールバスとの連携、鹿嶋市や大洗町などの広域的な連携などについて協議・検討を進めていただきたい。

答

【総務部長】所有する自家用車に対し、アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置等の安全運転補助装置の取付けに対し補助金を交付する自治体もある。高齢ドライバーの事故防止や被害の軽減については、大きな課題と認識しており、市としても、どのような取組みが市民の安全・安心に繋がるか、先進地の取組みを研究していきたい。

提言

この問題は社会問題と考えますので、健康寿命を延ばす観点の施策のひとつとして、全庁を挙げて考えていただきたい。



# 高齢者・障がい者の介護負担軽減・自立生活支援策について



高埜 栄治

**問** 高齢者・障がい者の在宅介護及び老々介護の実態ならびに介護給付サービスについて伺う。

**答** 【福祉保健部長】令和6年度在宅介護サービス利用者は延べ約一万七千人、老々世帯は約二千六百である。

**問** 人間の尊厳に係る排泄に関し、おむつ等利用の相談及び研修会の実績と計画について伺う。

**答** 【福祉事務所長】障がい者福祉サービス利用者は約三十名である。相談支援専門員を配置し相談対応を図り、家族対応が困難な場合は成年後見制度等を活用し支援に当たっている。老障介護の家族負担についても軽減のため相談や訪問活動の充実を努める。

**問** 野菜生産日本一のまちだけでなく、当該事業等に取り組むことと福祉・教育文化でも県内でトップのまちであることを全国に発信できると思う。是非、取り組んでいただきたい。

**答** 【福祉保健部長】慰労金支援事業は、令和6年度実績はなく、現行の要介護3以上では該当者はいない状況であり、ご指摘のように検討課題としている。

**提言** 高齢者・障がい者の外出は、認知症・疾病予防につながる。社会性を生み出すフレイル対策の上でも重要なことである。メロン、野菜生産日本一のまちだけでなく、当該事業等に取り組むことと福祉・教育文化でも県内でトップのまちであることを全国に発信できると思う。是非、取り組んでいただきたい。

**再質問** 【高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画】で掲げる家族介護教室事業の目標値達成及び在宅慰労金支援事業の見直しについて伺う。

**答** 【福祉保健部長】慰労金支援事業は、令和6

# 大洋地区小学校跡地利用について

鬼澤 治男



**問** 大洋地区小学校跡地利用に充当する公共事業等適正管理推進事業債（公適債）の条件と適応、市にとつて予算執行の面で有利な事業展開を伺う。

**答** 【政策企画部長】本地方には、公共施設等個別施設計画に位置付け、かつ集約化、複合化等に伴う施設整備事業であることが条件となる。条件適応の場合は、事業費に対し借入割合90%、その借入額の50%が交付税措置される。つまり借入額の半分を国が補填し、市の実質返済額は半額となり財政的に非常に有利である。また集約化に伴う統合前の既存施設を売却する場合は、昨年度は交付税措置のない地方債だったが、今年度からは施設整備した場合と同様の50%の交付税措置が受けられる改正がなされた。但し、何れの場合も集約化による統合前の既存施設の売却か売却を統合後の施設供用開始から5年以内に行うことが条件となる。

**問** 令和8年度末の期限を見据え、現在売却に至らず、解体となった場合でも期限内に合うよう設計費用を予算措置したところである。公適債活用に至った経緯を伺う。

**答** 【政策企画部長】公適債は、借入額の50%の交付税措置を受けられる点があり、また大洋小建設当時は合併特例債の充当を大洋小に約9億円、次の旭小に約9億円と考えていたが、物価高騰により大洋小の設計費が上昇、また結果的に旭小も総事業費30億円から50億円を超える状況となった。これらから合併特例債のみでは財源が厳しいことから、当時創設されたばかりの公適債を活用するに至った。

**問** 旧白鳥東小、旧白鳥西小の優先事業者の審査・交渉状況を伺う。また解体整備となり得る旧小学校の設計から解体費用の概算金額と公適債を活用した際の実質負担額を伺う。

**答** 【政策企画部長】旧白鳥東小は審査会を通過し、10月29日に地域住民へ説明会を開催、12月11日にも第2回説明会を開催する予定である。旧白鳥西小は審査会を12月24日に予定し、合格点以上となった際は優先事業者として手続を進めていく。

**再質問** 解体撤去工事費用については、現在実施設計業務を発注しており、詳細は差し控えていただくと。参考として令和5年度に施工した旧車挽小解体費用は予定価格1億9,168万6,000円である。近年の工事費等高騰を勘案し、1校当たり解体費用総額を2億円と想定した場合、公適債を活用すると市の実質負担額は総額の55%、1億1,000万円と見込まれる。





## 不登校といじめの問題について



高野 衛

**問** 不登校が小学校低学年までも増加している中、市内の小中学校での不登校といじめ対応について伺う。

**答** 【教育部長】不登校を未然に防ぐための取組として学校が楽しいと思えるような魅力的な学校づくりが大切だと考えており、全ての学校で授業改善を進めている。さらに、不登校となった児童生徒には、校内フリースクールや適応指導教室、オンライン学習など、児童生徒の実態に応じた支援を行い、最終的には自立に向けた学習支援を目指している。いじめ問題の増加については、「学校いじめ防止基本方針」に基づき対応し、ホームページに公開している。

**再質問** フリースクールの役割と利用の状況について伺う。

**答** 【教育部長】登校しなくてもクラスに入れな

い子を含め、学校とつながりながら自分のペースで過ごせる場所・登校する時間、何をして過ごすかなどを自分で決めて過ごしていく場所である。児童生徒個々に応じた支援を行い登校やク

ラスへの復帰を目指している。実際に通室した児童生徒の中にはクラスに戻ることができなかったり、高校進学もできた事例もある。

**再質問** 現在、大洋中の校へフリースクールを広げていく考えについて伺う。

**答** 【教育部長】他の学校にも同様の環境を整備する必要性を認識しており、今後、関係部署と協力して検討を進める。

**問** いじめゼロに向けての取り組みについて伺う。

**答** 【教育部長】いじめに

ついては、「いじめゼロ」を目指し、積極的に取り組んでいる。現在、初段階のいじめ認知件数の約8割は解消しており、進級などをしながらほぼ全件解消している、見逃しも含めゼロにするという目標を掲げている。学校内では人権教育や道徳教育の充実、協働的な学びを通じて、児童生徒一人一人の人間関係づくりを重視し、相手を尊重したり、思いやりの気持ちを育てるようにして、いじめゼロに向けて進めていく。

## お知らせ

### 議会映像配信をご利用ください

本会議の様子は、インターネットを使用したライブ中継や録画配信を行っています。インターネット環境があればいつでもどこでも議会を視聴することができますので、ぜひご利用ください。(録画配信は概ね1週間程度で反映されます)

#### 〈視聴方法1〉

① 銚田市議会を検索

銚田市議会 検索

② ホームページ内「議会中継」をクリック

③ ライブ中継は議会が開始するまでそのままお待ちください。録画配信は会議名一覧等から該当するものをクリック

#### 〈視聴方法2〉



議会中継のページに直接アクセスできます

いつでもどこでも開かれた議会へ!





# 視察研修報告



## 埼玉県

### 桶川市議会 立憲、国民、維新の会 5歳児健診について（視察の受入れ 令和7年11月21日）

平成28年7月に茨城県モデル事業として始まった本市が実施する5歳児健診を、埼玉県桶川市議会の立憲、国民、維新の会の皆様が視察されました。5歳児健診の流れや健診内容、健診する医師や心理師など多職種のスタッフによる問診、観察、講話、相談、事後フォローなど就学前の発達のスクリーニング、保護者自身に5歳児としての発達に関心を向けてもらい支援につなげることや、今後の就学に向けての教育委員会との連携など熱心に質問されていました。



5歳児の保護者への就学前の心構え、就学相談について教育委員会が行う講話風景を視察

### 総務企画常任委員会及び経済建設常任委員会（合同視察研修） （令和7年11月4日～11月6日）

**目的** 先進的にデジタル化を推進しているスマートシティを調査研究することにより、地域の課題を解決し、住民の生活の質を向上させるため

## 福島県 会津若松市

### スマートシティの取り組みは「技術ありき」ではなく 「地域課題の解決」

福島県会津若松市にあるAiCTコンソーシアムでは、会津若松市や会津大学、多くの民間企業などが参画し、市が中心となり整備したデジタル情報プラットフォーム「会津若松<sup>プラス</sup>」の活用が図れており、具体的には防災分野におけるリアルタイムな情報共有、医療・介護分野でのデータ連携、さらには観光分野での人流データ分析など多岐にわたる事業が紹介されました。

会津若松市におけるスマートシティの取り組みは「技術ありき」ではなく「地域課題の解決」を明確な目的として進められている点であり、行政が主導しつつも民間の知見やスピード感を積極的に取り入れ、地域特性や実情を踏まえ、市民に寄り添ったまちづくりが進められていました。



## 山形県 長井市

### スマートシティで住民の生活の質を向上



山形県長井市では、国のデジタル専門人材派遣制度を活用し、NTT東日本本社から社員の派遣を受け、デジタル推進室を設置しました。市営路線バスの乗降データを無線通信と個体識別情報を埋め込んだIDタグを用いて情報をやり取りする技術、通称RFIDを活用して効率的かつ効果的にデータを収集・分析し、その乗車傾向から現行バス停や時刻表の改善を行っており、またキャッシュレス決済の普及、決済データの利活用を目的にデジタル地域通貨「ながいコイン」が展開され、実際に購入し利便性を実感してきました。またスマホアプリを活用したレジ無し決済の無人店舗、通称スマート

ストアの設置やデジタル機器を活用した有害鳥獣対策など数多くの事業が進められていました。

スマートシティとは、最先端技術を導入すること自体が目的ではなく、地域の課題を的確に捉え、市民一人ひとりの暮らしをより良くするための手段であることを改めて再認識しました。





## 総務企画常任委員会(12月15日)

### 【所管事務調査】

#### ○銚田市消防団組織再編等に向けた取組みについて

主な取組みである①持続可能な消防団再編成、②消防団の処遇改善、報酬や報奨金の見直し条例改正、③消防団への加入促進、④団員の負担軽減と協力体制の構築、装備品等の充実など4点について説明を受け、委員から、加入促進、報酬などについて質疑が行われました。



#### ○次期銚田市総合計画の策定について

#### ○銚田市まちづくり計画の変更について

#### ○銚田市DXの現状と課題及び銚田市DX推進計画の延長について

### 【意見交換会】

銚田市区長会役員と「行政区の抱える課題と今後のあり方について」をテーマに意見交換を行い、「行政区加入のメリットがなければ、新規加入は難しい。」「便利なコミュニティバスを巡回できる方法を考えください。」など多くの貴重なご意見をいただきました。



### 【請願審査】 審議結果:趣旨採択

#### ○陳情第 07-1 号

陳情書の書式制定、又、有効活用してもらう件に関する陳情書は、新様式を作成することで趣旨採択となりました。

## 経済建設常任委員会(12月17日)

### 【所管事務調査】

#### ○大竹海岸養浜工事の進捗について

砂浜の減少が著しい大竹海岸銚田海水浴場は、県発注による養浜工事が海水浴場開設前に行われたことにより、令和7年の夏の大竹海岸銚田海水浴場は開設に至り、大勢の来場者で賑わい、海水浴場は歓声と笑顔に包まれました。

本委員会では、その後の海水浴場の現状確認のため、現地に赴き調査を行いました。令和7年の県工事では費用約4千万円で、海水浴場開設を目的とした約1万2千㎡の砂が搬入されたとのこと。引き続き、令和8年も県による養浜工事等が検討されていることを確認しました。

また、波や風、海流等の作用によって、年間約3万7千㎡の砂が流失している現状から、県では砂の流出を食い止める方法のひとつとして、ヘッドランドや人工リーフなどの物理的な構造物の設置について検討を進めているとの説明を受けました。

銚田の魅力ある観光資源のひとつである大竹海岸銚田海水浴場の今後について、本委員会は引き続き注視してまいります。





## 委員会活動報告



### 厚生文教常任委員会(12月16日)

【請願審査】 審議結果:趣旨採択

#### ○陳情第 07-2 号

臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情については、提起されている趣旨には一定の理解ができるものの、不明瞭な点があることから、趣旨採択となりました。

#### 【所管事務調査】

#### ○旭・大洋保健センターの運営体制の見直し(案)について

現在、旭・大洋保健センターで職員が常駐していますが、母子保健事業が子ども家庭センターへ移行したことに伴い、両センターへの来所者が減少したことから、銚田保健センターへ職員の集約を検討していく説明があり質疑が交わされました。



#### ○地域クラブ推進の現状とこれからについて

部活動の課題として、少子化への対応と教職員の負担軽減が挙げられ、今後は土・日曜日を地域クラブに移行していくとのことでした。指導者確保や保険加入の有無、活動場所の借用、部活動の種目など詳しく説明を受け、質疑では、文化芸術の部活、大会の開催、アンケート調査についてなど活発な質疑が交わされました。



#### ○地域コミュニティ・スクールの成果と課題及び展望について

「銚北ひまわり学園」における成果として、自主運営ができており、課題は人材の発掘・育成、成果が出るまでに時間がかかることなどの説明がありました。

展望として、学校運営協議会への理解を深めていく、地域の人材を発掘する、自主運営体制登録堅持など詳細な説明を受けました。地域コミュニティ・スクールの理解を深めることができました。



#### ○幼稚園教育の現況について

旭幼稚園、銚田幼稚園、つばさ幼稚園の3園を視察し、施設の状況、幼稚園事業の活動内容を実際に園長や主任先生の意見を聴くことができ各園の特徴や現状を知ることが出来ました。



## 議員の失職



井川 茂樹 議員の、銚田市長選挙立候補を受け、公職選挙法第90条の規定により令和7年10月19日付で、市議会議員の職は失職となりました。



## 議会報告会



例年2月に開催しておりました議会報告会については、本年は開催を見送ることとし、代わりに市議会に設置する各委員会が主体となった市民との意見交換会を実施いたします。

意見交換会の詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

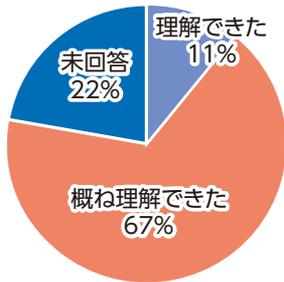


# 銚田市議会に関する

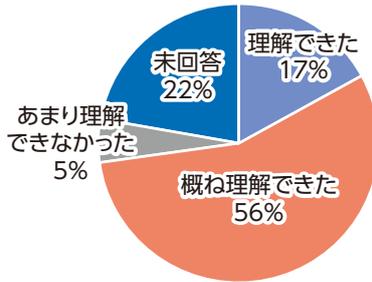
# アンケート結果

傍聴者のみなさまに「銚田市議会に関するアンケート」のご協力をお願いいたしました。その結果21名の方からご意見をいただくことができました。下記にアンケート結果の抜粋を掲載いたします。

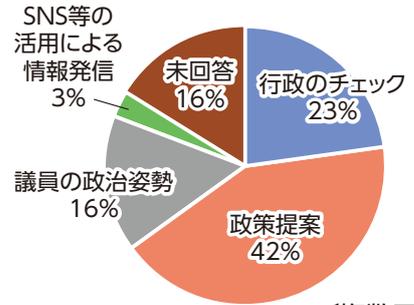
議員の発言について



執行部の発言について



議会・議員に期待すること



〔複数回答可〕

## ■ その他、市議会についてのご意見

- ・ヤジも私語もなく静かな議会だった (男性/70代)
- ・今後、市長の政策へ期待 (男性/70代)
- ・公共交通対策として広域連携が重要。大洗、鹿嶋、行方、県、バス、鉄道会社との連絡協議会設置を望む。また、車なしで買い物をする、病院に行く等の体験会を開催して、議員、市民、行政間で情報交換してください。 (男性/60代)
- ・正面モニターの文字が小さいので傍聴席にも少し小さいモニターを設置したらどうか。 (男性/70代)



今後も市民に開かれた議会を目指すため実施する予定ですのでみなさまの議会に対する声をお聞かせください。アンケートにご協力いただきありがとうございました！！

## 議会を傍聴してみませんか！

次回の定例会は  
**3月2日(月)～**  
開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。  
※日程は変更になる場合があります。

編集委員

委員長 鬼澤 治男  
副委員長 水上美智子  
委員 久保田 豊 土子 勝也  
羽成 洋一 小沼 勝  
根寄 眞 入江 晃

## 令和8年第1回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議(開会)	会派代表質問・一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会	
8	9	10	11	12	13	14
	常任委員会		本会議	本会議	予算特別委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	予算特別委員会	予算特別委員会			春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	予算特別委員会		本会議(閉会)			
29	30	31	4/1	2	3	4

※日程は変更になる場合があります。

令和7年第4回定例会延べ傍聴者数 51名  
議会映像配信視聴数 415アクセス  
(令和7年12月4日～令和7年12月19日)



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

